

## アヤメ（アヤメ科）

### 観察のポイント

アヤメ・カキツバタ・ハナショウブ、アヤメの仲間はなかなか区別が付きません。アヤメはやや乾いた草地に生え、垂れ下がる花びらに網目（あみめ）があります。この網目模様からアヤメという名前が付けました。

## マムシグサ（サトイモ科）

### 観察のポイント

あやしい雰囲気いっぱいの花です！この花は何年も生きる長生きの花ですが、小さい頃は男の子、成長して大きくなると女の子に変身します。見るからに毒々しい花ですが、本当に毒があります。茎の模様がマムシに似ているところからこの名がつけられました。

## ギョウジャニンニク（ユリ科）

### 観察のポイント

葉っぱを少しだけちぎってにおいをかいのみよう！どんなにおいがするかな？昔、山で修行をした行者さんが元気を出すために食べたので、この名が付けました。

## ウマノアシガタ（キンポウゲ科）

### 観察のポイント

この花は別名キンポウゲともいい、キンポウゲ科を代表する名前ですので、こちらの名前のほうが有名かもしれません。日当たりの良い道端や草地に生え、黄色い花にはつやがありてかか光ります。茎にはまっすぐ外に向かって生える毛があります。観察してみよう！

## クリンソウ（サクラソウ科）

### 観察のポイント

山地のやや湿ったところに生える、高さ80センチくらいになる大型で目立つ花です。サクラソウの仲間で、花の中心をよく見ると虫ピンの頭のようなめしべが見える花と、おしべのギザギザが見える花があるよ。目を近づけて観察してみよう！

## ニッコウキスゲ（ユリ科）

### 観察のポイント

夏の高原を代表する花です。日光や尾瀬などで黄色いじゆたんのようにさく景色をテレビや写真で一度は見たことがあるのではないですか。鼻戸屋付近にはチラホラ見かけます。

## アマドコロ（ユリ科）

### 観察のポイント

大きなスズランみたいなこの植物は下向きのベル型の白い花を咲かせます。ナルコユリという植物にそっくりですが、ナルコユリの茎は丸く、アマドコロの茎は角ばってデコボコしています。さわって観察してみよう。ヤマイモ科のトコロという植物の根っこに似ていて、しかも甘いところからこの名が付けました。

## チゴユリ（ユリ科）

### 観察のポイント

高さ20センチくらいの小さな花ですが、葉が6～7枚になるまで何年もかかって成長するのです。意外に何年も生きる多年草です。チゴユリは種で増える以外にも、四方に根を伸ばし、それぞれを切り離して増えいくという方法をとります。忍法分身の術！



クリンソウ

クリンソウ (サクラソウ科)



アヤメ

アヤメ (アヤメ科)



ニッコウキスゲ

ニッコウキスゲ (ユリ科)



マムシグサ

マムシグサ (サトイモ科)



アマドコロ

アマドコロ (ユリ科)



ギョウジャニンニク

ギョウジャニンニク (ユリ科)



チゴユリ

チゴユリ (ユリ科)



ウマノアシガタ

ウマノアシガタ (キンポウゲ科)